

規則第 3 条第 1 項に基づき換算したダイオキシン類の構成

整理番	実測濃度	試料における定量下限	試料におけ	毒性等価	毒性等量	
ポリ塩化ジベンゾフラン	2、3、7、	ND	0.02			
	1、2、3、	0.25	0.02		0.0125	
	2、3、4、	(0.024)	0.03		0	
	1、2、3、	0.013	0.01		0.0013	
	1、2、3、	ND	0.02		0	
	1、2、3、	ND	0.02		0	
	2、3、4、	ND	0.02		0	
	1、2、3、4、6、7、8—HpCDF	0.42	0.02		0.0042	
	1、2、3、4、7、8、9—HpCDF	(0.024)	0.03	0.003	0.01	0
	OCDF	0.045	0.03	0.01	0.0001	0.0000045
Total PCDFs	—	—	—	—	0.0180045	
ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン	2、3、7、8—TeCDD	ND	0.01	0.003	1	0
	1、2、3、7、8—PeCDD	ND	0.01	0.003	1	0
	1、2、3、4、7、8—HxCDD	ND	0.02	0.006	0.1	0
	1、2、3、6、7、8—HxCDD	ND	0.01	0.003	0.1	0
	1、2、3、7、8、9—HxCDD	0.052	0.02	0.006	0.1	0.0052
	1、2、3、4、6、7、8—HpCDD	0.16	0.03	0.009	0.01	0.0016
	OCDD	0.038	0.03	0.009	0.0001	0.0000038
	Total PCDDs	—	—	—	—	0.0068038
Total (PCDFs+PCDDs)	—	—	—	—	—	
コプラナーポリ塩化ビフェニル	3、4、4'、5—TeCB (#81)	0.35	0.03	0.009	0.0001	0.000035
	3、3'、4、4' —TeCB (#77)	0.026	0.02	0.006	0.0001	0.0000026
	3、3'、4、4'、5—PeCB (#126)	ND	0.03	0.009	0.1	0
	3、3'、4、4'、5、5' —HxCB (#169)	(0.036)	0.04	0.01	0.01	0
	2'、3、4、4'、5—PeCB (#123)	0.42	0.03	0.009	0.0001	0.000042
	2、3'、4、4'、5—PeCB (#118)	ND	0.03	0.009	0.0001	0
	2、3、3'、4、4' —PeCB (#105)	(0.015)	0.03	0.009	0.0001	0
	2、3、4、4'、5—PeCB (#114)	0.037	0.02	0.006	0.0005	0.0000185
	2、3'、4、4'、5、5' —HxCB (#167)	0.061	0.05	0.02	0.00001	0.0000061
	2、3、3'、4、4'、5—HxCB (#156)	0.056	0.04	0.01	0.0005	0.000026
2、3、3'、4、4'、5' —HxCB (#157)	0.28	0.04	0.01	0.0005	0.00014	
2、3、3'、4、4'、5、5' —HpCB (#189)	0.058	0.05	0.02	0.0001	0.0000058	
Total コプラナー PCB	—	—	—	—	0.00027251	
Total ダイオキシン類	—	—	—	—	0.02508081	

焼却炉は酸素12%換算値(鉄鋼業焼結施設は15%)を記入してください。
有効数字2桁とし、検出下限値未満はND、検出下限値以上、定量下限値未満は括弧付きで記入して下さい。

ND 及び括弧付きの数値は0とし、計算結果をそのまま記入して下さい。(四捨五入等はしないで下さい)

備考 1 排出ガスの測定結果を記入する場合には、単位を ng/m³N (毒性等量にあつては、ng-TEQ/m³N。) 、排出水の測定結果を記入する場合には、単位を pg/L (毒性等量にあつては、pg-TEQ/L。) とし、ばいじん等の測定結果を記入する場合には、単位を ng/g (毒性等量にあつては、ng-TEQ/g。) とする。
2 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数値で記載すること。
3 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“ND”と記載すること。
4 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を零として算出すること。
5 用語の定義は、日本工業規格 K 0311 又は K 0312 によること。
6 整理番号は、測定結果が複数の場合に記入すること。